令和２年度の事業報告書

特定非営利活動法人 BeCOM
代表理事　西田 美樹

1　事業の成果

【１】2020 COM CUP 英語・日本語スピーチ大会（オンライン）

主催　2020COMCUP 実行委員会／大会事務局　NPO 法人 BeCOM

豊かなコミュニケーション能力を支える語学力の育成と異文化理解、国際交流意識の向上を目指し、本年も当大会を開催。

コロナ禍にあり、様々な場面で自粛、縮小が余儀なくされた中、20 年にわたり重ねてきた COM CUP の役割として、次のステージへ個々が歩みを進めていく場づくりを目指し、ICT を積極的に活用した大会の実施、及び以下に取り組んだ。

①COMCUP サイトの開設　https://comcup.jp

COMCUP の目指すこと、大会に関する情報、教育コンテンツの発信、活動支援の募集などを見える化し、広く情報の発信・共有を目指した。

・COMCUP 応募フォームの設置による参加受付、動画コンテンツ配信など新しい試みの創出につながった。
・広く PR が可能となり、遠方より新規の大会参加者を迎えることにもつながった。

②2020 COM CUP 英語・日本語スピーチ大会

サイト内の応募フォームからスピーチ動画を受け付け、審査の後日、ZOOM にて審査結果の発表等をライブ配信。
開催日：2020 年 12 月 20 日（日）13:00～14:15

＜英語・日本語弁論の部＞
伝えたいことを明確にし、聞き手に分かりやすい表現、構成を考え、伝える力の向上を目指し実施。（中学１年生～一般成人 対象）

・参加者：英語弁論の部１２名／日本語弁論の部６名
・初めてとなるスピーチ動画の応募による大会であったが、参加者は ICT の活用が急速に進んだ社会の中で、新しいツールを使って思いを伝える工夫と挑戦の機会となった。
・コロナ禍のどのような状況の中でも、弁論テーマ「door to the next stage」に対する自身の考えと向き合い、まとめ、伝えようとする参加者の歩みを応援する場となった。

＜英語・日本語暗唱の部＞動画投稿により暗唱度の採点が困難なため設定無し。

＜英語ショートスピーチ動画の部＞

COMCUP20 周年特別企画として実施。（年齢、国籍、居住地不問）
サイトから応募しやすいフォームの設置と、英語５文から参加できる部門とすることで、誰もが楽しんで英語と ICT を活用し、自由に表現する機会となることを目指した。

・参加者：１７名
・幼児から小学生、学生、一般成人まで多様な参加者が、ICT と英語を使い、テーマ（door to the next stage）に対して、自由な発想で表現し発信する場となった。

・特別賞を選出、授与してくださる協賛企業を募り、大会への理解と支援につなげた。
→銚子プラザホテル賞／株式会社トラヤ賞／文港堂書店賞
・応募動画を一定期間公開し、どなたでもご覧いただけるようにしたことで、新設した COMCUP サイトへの誘導につながった。

③対談動画「COMCUP DOORS」作成・公開

幅広い学習者層をメインターゲットとして意識し、多様性、異文化理解をキーワードに、未来のとびらを開くゲストを迎えた対談動画を作成、公開。
スピーチ大会とは異なるアプローチで、豊かなコミュニケーション能力を支える語学力の育成と異文化理解、国際交流意識の向上を目指した。また、COMCUP の周知につなげることを目指した。

＊２０２０年度「COMCUP DOORS」対談ゲスト

VOL.１　ロイターマン恵美さん（銚子出身／銚子市地域おこし協力隊）
※台湾何嘉仁国際文教隊に日本語教師として１５年勤務。

VOL.２　コシモフ・イスロムベクさん
（ウズベキスタン出身／千葉科学大学 危機管理学科１年）
※2020COMCUP グランドプライズ受賞者

【２】ことばの冒険

地域で生まれ、育つ子供たちが、豊かで前向きな言語生活を送ることを願い、令和２年度も「ことばの冒険」事業を実施。

全ての学びの土台である「読書」を主題とし、読む力や、想像する力、コミュニケーション力を育てる、学びや経験の場を目指した。

またコロナ禍における長期休校、外出自粛等によるコミュニケーション不足が危惧される中、人と人がつながり豊かな時間となることを目指した。

①ことばの冒険の部屋

日　程　　令和２年 10 月 10 日～令和３年２月 13 日　１０時～１１時　計６回
対　象　「ことばの冒険の部屋」参加経験者のうち小学２年生～４年生
参加者　　10 名参加
場　所　　すきくるステーションにてＺＯＯＭ開催
内　容　　読み聞かせ、本の紹介、短文づくり、クイズ、
　　　　　おすすめの本の作文個別指導
　　　　　ブックトークとパネルシアター（ゲスト講師　岸本香奈子氏）

・参加者は、新しいツールでの学びに柔軟に適応し、「本」や「言葉」に関わる活動に取り組んだ。
・参加者は画面越しに、発話者に耳を傾け、また相手に伝わるように心がけるなど、他者理解や活動内容への集中、関心が伺えた。
・ゲスト講師によるブックトークとパネルシアターでは新しい角度で本の魅力に触れることができた。

②ことばの冒険の旅　私のおすすめの本 作文コンクール（例年の発表会に代わり開催）

募集内容　　おすすめの本の紹介文（600～1,200 字）
対 象 者　　小学１年生～４年生
参 加 者　　 ５１名（内、ことばの冒険の部屋参加者１０名）
募集期間　　令和３年１月２５日～２月２０日

・おすすめの本を選び、伝えようとする子供たちの豊かな表現の場となった。
・銚子市公正図書館と連携し、読書活動の推進につなげた。（審査員としての参加、及び銚子市公正図書館長賞の選出・表彰。）
・明神小学校３年生が授業の一環で全員が応募。学校の授業で学習したことを生かし、子どもたちを地域の中で共に育てていける場づくりの一つとなった。

【３】協働によるまちづくりを進める銚子円卓会議への参画

社会関係資本の可視化ツールである地域通貨「すきくるスター」の流通促進による消費喚起と協働のまちづくり意識の醸成、地域の将来を担うまちづくり人材の育成、多様な学びの機会の創出などを通して、地域に暮らす一人ひとりの幸せを想像し、そこに向かう多様な力の創造を目指した。

１）すきくるプロジェクト

地域通貨「すきくるスター」の流通促進を想像の起点とし、分断されがちな従来の枠組みに徹底して架橋する事、多世代、異業種、異分野間のつながりを意識した対話の場をつくり、合意のプロセスまで寄り添う事、次世代を担うまちづくり人材を育成する事、常に外部からの資源提供を内部の資源循環へとつなぐことを目指した。

①地域通貨「すきくるスター」の流通促進を支える事務業務及び広報活動

・犬吠 WAON カード推進に係る業務の調整
・オールスターズ各店舗に係る精算業務／業務フォロー／PR 活動
・地域通貨の研究（調査、実験、検証、結果の考察）
・その他
　＊インターン支援事業において活動支援金としてスター入り犬吠 WAON カードをインターン生に配布。
　＊銚子市より銚子市成人式記念品として 500 スター入り犬吠 WAON カードを配布。

②「この指とまれ！プロジェクト」の推進

・ＳＮＳ（銚子円卓会議ホームページ、Facebook、Instagram）での活動紹介
・銚子版寄付のしくみの推進
　→募金箱（この指とまれ！スターボックス）を有志店舗・事業所に設置し現金による寄付を募る。
　→寄付付き商品（ギフトスター商品）拡充
　　１点購入毎に、事業所から当プロジェクトへスターが寄付される。
　　対象商品「ちょうしおせんべい物語」「コメの実」根本商店
　　　　　　「咲咲（サクサク）食パン」サントノーレ
　　　　　　「オリジナルトートバッグ」リプリーズ
　　　　　　「銚子灯台コーラ」銚子チアーズ(株)・(株)浜鈴総芸
・その他：銚子円卓会議インターン生による「寄付」についての広報活動
　→「マスク越しのキフ」2020 年 12 月 1 日（火）～2021 年 1 月 17 日（木）

この他、税以外のまちづくり資金についての考察を深め、寄付のあり方やその適切な活用についても実践的に検証を進めた。

２）インターン支援事業（課題解決型インターンシップ事業の企画及び支援）

まちづくり活動への参加人口増、移住定住を含め個々のライフステージに応じたキャリア形成支援の機会となることを目的とする企業研修・インターンシップ事業の支援。

①地方創生インターンシップ DELKUI 2020

１．インターン生への住環境の手配、作業スペースの提供、実践的指導（日報の確認、関係者への配信、インターン生へのフィードバック）、関係機関との連絡調整など、インターンシップ事業を効果的に推進するためのコーディネートを担った。

２．地域通貨を活用した支援を検討した。

・犬吠 WAON カードに 10,000 スターを付与し支給、及び利用状況のデータ抽出

３．インターンシップ事業に関する以下の広報活動を行った。

・受け入れ企業説明会実施　10 月 30 日（金）銚子市勤労コミュニティセンター

・ＳＮＳの活用（銚子円卓会議ホームページ、Facebook、Instagram での告知）

②その他のインターン支援事業の企画及び支援

１．銚子円卓会議　社会人・大学生インターンの受け入れ

→令和２年１０月～令和３年３月　大学生インターン３名参加

２．DELKUI high school（高校生対象）

→まちづくりワークショップ～僕らの基地がほしいんだ～

※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

３．DELKUI ジュニア（中学生対象）

→10 月 17 日（土）銚子市勤労コミュニティセンター　中学生１９名参加

③その他

企業版ふるさと納税の推進、まちづくりワークショップによる学びの場、合意形成の場づくり等、銚子円卓会議協働事務局として活動。

【４】BeCOM ホームページのリニューアル

BeCOM の目指すことや活動を可視化することで、広く情報の発信、共有を目指した。プロボノチームにサイト作成を依頼し共に進めることで、掲載すべき内容の精査と、視覚的にも見やすいデザインのサイト作りを図った。
http://www.be-com.jp/

また、活動資金調達の一環として、商品を購入することで BeCOM の活動への寄付につながるショッピングサイト「ITOGUCHI」を開設した。
https://becom.official.ec/

2　事業の実施に関する事項

事業名	事　業　内　容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（円）
ＣＯＭ杯 英語・日本語 スピーチ大会	コミュニケーション能力としての語学力育成を目指す英語・日本語スピーチ大会	12 月 20 日	すきくる ステーション 銚子商工会館 ５階 大会議室	30	市内外の学生 留学生、一般 35 名	616,689
ことばの冒険の部屋 ことばの冒険の旅	すべての学びのもととなる「読書」に関わる教室及び 作文コンクール	10 月 ～3月 教室６回 及び コンクール	すきくる ステーション	15	小学校１年生 ～４年生 ５１名	43,957
すきくる プロジェクト	地域通貨の流通促進を支える事務業務及び、広報	通年	市内	10	一般	
インターン支援事業	銚子円卓会議事業。課題解決型インターンシップ事業の企画及び支援	９月～3 月	市内	5	中学生・高校生 大学生 企業 一般	
企業研修プログラム 推進事業	銚子円卓会議事業。企業向け社会人研修プログラム開発	通年	銚子市役所内 会議室	2	一般	
BeCOM サイト構築	BeCOM の目指すこと、活動など情報発信ツールとしてのサイト構築	３月			一般	